2026 年 11 月 5 日
日本銀行岡山支店

岡山県金融経済月報

１．概況

県内景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかな回復を続けている。

最終需要をみると、個人消費は、物価上昇等の影響を受けつつ、底堅く推移している。設備投資は、増加傾向にある。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。

県内製造業の生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

先行きについては、中東情勢の展開等が当地の金融経済情勢に及ぼす影響を注視していく必要がある。

２．実体経済

（１）最終需要

個人消費は、物価上昇等の影響を受けつつ、底堅く推移している。

百貨店・スーパー売上高は、物価上昇等の影響を受けつつ、横ばい圏内の動きとなっている。乗用車販売は、横ばい圏内の動きとなっている。家電販売は、持ち直しつつある。主要観光地への入り込みは、高水準となっている。

設備投資は、増加傾向にある。

９月短観調査における 2026 年度の設備投資額（全産業）は、高水準となった前年度並みとなる計画。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、緩やかに増加している。

（２）生産

県内製造業の生産は、横ばい圏内の動きとなっている。

主要業種の生産動向をみると、輸送用機械は、高めの水準で推移している。電気機械は、ＡＩ関連需要等を背景に、回復傾向にある。はん用・生産用・業務用機械は、横ばい圏内の動きとなっている。鉄鋼は、国内の輸送用機械向けは堅調となっている一方、アジアにおける供給過剰等の影響を受けて、横ばい圏内の動きとなっている。化学は、アジアにおける供給過剰が基調的な下押しとなるなかで、弱めの動きが続いている。

（３）雇用・所得

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は改善している。

（４）物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、１％台後半となっている。

３．金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利は、緩やかに上昇している。

以　上

内容についてのご照会は下記までお願いします。
〒700-8707　岡山市北区丸の内 1-6-1
日本銀行岡山支店総務課 電話 086－227－5111（代表）
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　https://www3.boj.or.jp/okayama/

知るぼると
岡山はこちら!!